

かったことで、縞石沢の下降を含めて4時間で終了した。

6:20入渓。しばらく沢ぞいの道を歩く。水量も少ない。ずっと平凡な沢歩きが続く。途中でちょっと変わったことといえば、狸を見たことである。

7:20 10mと5mの滝が続き、シャワークライミングを楽しむ。7:43大岩から垂直に流れる8mの滝がある。足場も悪く、岩ももろいので、慎重に捲く。

8:15エンマ沢の遡行を終え、尾根に出て一休みする。

(記・

[タイム] 出合(6:20)→遡行終了(8:15)

### 縞石沢(下降)

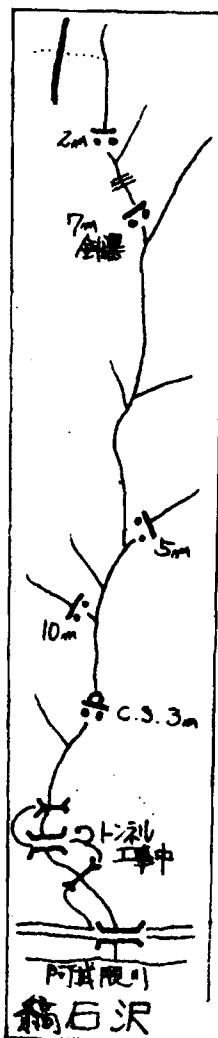
1983年7月24日

L

8:35下降開始。7mの斜瀑を過ぎた所で縞石沢の本流に出る。この沢は非常に平凡な沢である。滝など1つも無いままに終わってしまった。尖戸さんが途中で大きなサルノコシカケを収穫する。下降終了8:45。

(記・

[タイム] 下降開始(8:35)→縞石沢本流(9:00)→縞石橋(9:45)



### 吹上沢

1983年7月24日

L!

甲子温泉前を通り、本谷の仮橋を渡って白水沢へ。3mと10mの2つの滝を越えると、すぐ吹上沢が右から合流している。出合は狭く、薄暗い感じの沢である。

5分程でF1、ナメ滝である。高さが6m位、長さが20m位はあろうか。そのあとも約5分間隔で小さな滝が続く。F3のトイ